

氏 名（本籍） かな おか あきら 金 岡 晃（東 京 都）
 学 位 の 種 類 博 士（工 学）
 学 位 記 番 号 博 甲 第 3507 号
 学位授与年月日 平成 16 年 3 月 25 日
 学位授与の要件 学位規則第 4 条第 1 項該当
 審 査 研 究 科 システム情報工学研究科
 学 位 論 文 題 目 ネットワーク不正侵入におけるデータ解析および異常検出手法に関する研究

主 査	筑波大学教授	理学博士	板 野 肯 三
副 査	筑波大学教授	工学博士	岡 本 栄 司
副 査	筑波大学助教授	工学博士	片 岸 一 起
副 査	筑波大学助教授	博士（理学）	加 藤 和 彦
副 査	岩手県立大学教授	Ph. D.	村 山 優 子

論 文 の 内 容 の 要 旨

ネットワーク不正侵入技術の簡単な歴史と従来成果を紹介した後、ネットワーク不正侵入の効果的な対策技術を開発することを目的として、ネットワーク上のパケットデータ解析を行い、それに基づいて新しい異常検出手法を提案している。データ解析によって従来知られていなかったパケット情報が有効であることを示し、またそのデータ解析手法とニューラルネットワークを組み合わせることにより、従来よりも有効な異常検出手法を提案しかつ実証している。さらに、IETF（Internet Engineering Task Force）で検討されている侵入検知情報の交換プロトコルの問題点と解決策を示している。

審 査 の 結 果 の 要 旨

著者はネットワーク不正侵入の効果的な対策技術を開発することを目的として、ネットワーク上のパケットデータ解析を行い、それに基づいて新しい異常検出手法を提案している。データ解析によって従来知られていなかったパケット情報が有効であることを示しており、またそのデータ解析手法とニューラルネットワークを組み合わせることにより、従来よりも有効な異常検出手法を提案しかつ実証している。これらは国際的にも認められており、優れた成果であると認められる。

よって、著者は博士（工学）の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。